

平成30年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	村木真由
全体計画						経費区分	—			内線	245-0407	
事務事業名		4313 博物館管理運営事業										
所 属		130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策		04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費										
	事業	020000 博物館管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。						資料の収集・保存及び調査研究を行うとともに、特別 展をはじめとする展示活動や各種講座・講演会などの 事業を推進し、市民の生涯学習の場とする。 また、全市をフィールドとした「どこでも博物館」の 活動を推進するため、博物館ボランティア会とともに 活動をすすめる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
特別展（吉向焼） 入館者数 954人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 907人 スポット展示「猿の根付展」 入館者数 643人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,042人 干支コレクションアワード2016猿への参加・投票 全国第1位	特別展（北村方義） 入館者数 782人 特集展（印籠・根付） 入館者数 980人 特集展（堀家の雛人形など） 入館者数 947人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 612人 NHK大河ドラマ関連スポット展示「上杉景勝書状」
平成29年度 実績	平成30年度 予定
特別展（須坂藩14代） 入館者数1,006人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数489人 八丁鎧塚まつり 入場者数1,200人 博物館基本計画策定委員会	記念展示「幕末・明治期の須坂」 館外企画展示「須坂きのこ展」 八丁鎧塚まつり 博物館基本計画策定委員会
平成31年度 予定	平成32年度 予定
特別展（能面） 館外企画展示「須坂きのこ展」 八丁鎧塚まつり 館外講座「臥竜山たんけん」 収蔵品整理	館外企画展「須坂きのこ展」 館外講座「臥竜山たんけん」 収蔵品整理

指標名	年間入館者数				
算式	年0.5%の増				
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	5,714	5,742	5,771	5,800	5,829
実績	4,073	2,894			
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（5,657人）より、各年0.5%ずつの増				
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
実績					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		13,482	14,374
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	597	0
	地方債	0	0
	その他	629	10
一般財源		12,256	14,364
人員数 (人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	1.9	1.9
	臨時職員	0.3	0.3
人 員 コスト	正規職員	6,434.1	6,434.1
	嘱託職員	5,255.4	5,255.4
	臨時職員	353.7	353.7
	計	12,043.2	12,043.2
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		25,525.2	26,417.2

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	716	講演会・講座等講師謝礼293、展示品借用・指導等謝礼201、委員等謝礼22
11節 需用費	2,905	展示等消耗品費318、燃料費128、印刷製本費（ポスター、チラシ、図録外）1628、光熱水費671、修繕料149 外
13節 委託費	363	警備保障委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）、きのこ展共催負担金
その他	9,345	報酬5,542、共済費1,077、賃金1,503、旅費93、役務費888、使用料及び賃借料188、原材料費54

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	837	講演会・講座等講師謝礼440、展示品借用・指導等謝礼165
11節 需用費	2,365	展示等消耗品394、ポスター・チラシ等印刷845 ほか
13節 委託費	873	館内警備保障委託376、博物館移転イメージイラスト作成497
15節 工事請負費	497	博物館事務室移転電気設備工事
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金130
その他	9,649	報酬5,602、共済費1,079、賃金1,595、旅費246、役務費888、使用料及び賃借料157、原材料費0、備品購入費75、公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	- 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか - 行政内部の管理運営上必要な事業であるか - 市が主体となり実施すべき事業か - 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか - 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	市民が歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、常設展示をはじめとする展示活動及び講座活動を開催している。	
有効性	- 事業の成果は上がっているか - 目標に対する達成度は十分か - 市民生活上の課題解決に貢献しているか - 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか - 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	有効
評価コメント	須坂藩第13代藩主堀直虎没後150年記念事業として、特別展「須坂藩堀家14代」を開催した。須坂藩・堀家や郷土の歴史について市民等の理解と関心を深めることができた。 また、長野県地域発 元気づくり支援金を活用して「須坂藩堀家と堀直虎の生きた時代を見つめて」と題して各種事業を実施した。公募したボランティアスタッフと共に堀直虎の業績や須坂藩の歴史をより多くの市民に周知できた。	
効率性	- 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか - 効率性向上に努めているか - 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	博物館ボランティア会の協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説等の収蔵品活用事業を展開している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の歴史・文化の概観を学ぶ拠点として、市民の歴史・文化学習に資するために特別展・講座等を開催し、情報発信に努めた。

現在博物館は消防法不適合の状態であり平成30年1月15日から長期休館している。今後のあり方について検討し基本計画を策定するため、須坂市立博物館基本計画策定委員会を設置し委員会を開催した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント	
博物館施設を今後どうするか、基本計画策定委員会で検討しており、博物館のあり方についても市民の意見を聞きながら、今後のビジョンも併せ検討していく。	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
2次評価コメント	
・博物館基本計画が策定予定であるので、計画に沿った博物館活動ができるよう対応する。 ・収蔵品整理、データベース化を行い、適切な保存活用を行う。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	